

コメ相場 マスコミ、不認可に否定的

東穀取は抗議文提出 関西商取は特別講演会

昨年12月に東京穀物商品取引所と関西商取が農林水産省に申請したコメの試験上場は4月12日に最終的に不認可が決まった。このコメ上場問題はマスコミの関心も高く、主要全国紙がいずれも不認可には否定的な見方の記事を掲載し、東穀取は抗議文と反論文を提出、関西商取は上場に向けた再スタートの意味を込めた特別講演会を催した。

なぜ認めないのか

3月28日に中川昭一農水相が認可しない意向を表明したのを受けて、翌29日付朝日新聞は経済面で「先物取引の認可はコメ価格の乱高下を抑えて、流通業者だけでなく、消費者の利益にもつながるとの見方もある」と述べた。農水省の相変わらずの「農協偏重」の姿勢には批判が出そうだと報じた。

31日付の日本経済新聞は「コメ先物市場をなぜ認めないか」と題する社説を掲げた。その中で「コメ市場再開の動きの背景には政府の硬直的な食糧管理政策の破綻でコメ市場にも価格変動の波が押し寄せ、卸売業者や外食産業など需要家のニーズが高まったことがある。主食で、最大の農産物であるコメの先物市場への

挑戦し続ける決意

コメ試験上場不認可に対し、東京穀物商品取引所は強い反発姿勢を示している。「コメの試験上場に関する農水省の決定に対する東穀の決意表明」と題する抗議文と、「コメ先物市場と生産調整の関係に対する誤解



東京穀物商品取引所

決意を有することを表明する」と結んでいる。反論では、「コメ政策の中心をなしている生産調整への参加意欲が低下して」「コメ生産に著しい支障を及ぼすおそれがある」との判断は、明らかに日本のコメの全体需給の均衡と米備蓄の実現を目的とする全体政策と、個々の生産者の経営安定を目的とする個別経営対策を混同したものであり、基本的に納得できるものではない」と解説している。

関西商取は、4月28日午後5時30分より大阪市西区新町の大阪厚生年金会館ウエルシティ大阪においてコメ特別講演会と懇親会を開催した。

情報と投資資金が集積される厚みのある先物市場が必要な時代に入った」とし、「我々は非力ではあるが、その主張は時代の要請に合ったものと確信しており、実現に向けて挑戦し続ける」と所信を披露。

運用で未収金リスク軽減 委託者ごとに異なる対応可能

先物協会 新会社法に伴う商取法施行規則 説明会 証拠金制度の弾力的運用

先物協会は4月25日、「新会社法に伴う商品取引所法施行規則の一部改正及び証拠金制度の弾力的運用に係る説明会」を東京・大手町のサンケイプラザで開いた。約260人が出席し、主務省、関係団体、取引所の担当者から約2時間わたって熱心に説明を聞いた。

まず、先物協会の市場振興戦略会議(4部会で構成)の委員長を務める多々良實夫・豊商事社長がこの説明会の趣旨などについて挨拶した。要旨は次の通り。

2004年秋ごろから売買高の減少が目立ちはじめ、昨年5月の改正商取法の施行による規制強化の影響などでさらに減少してきまされた。そこで、流動性を確保するために実務的な観点から対応策を検討するため市場振興戦略会議を設け、すぐにやれることと、中長期的課題とに分けて昨年10月から検討を続けてきました。

その会合には主務省、取引所、日本商品先物取引協会から毎回、オブザーバーとして参加していただいた。その成果の一つが委託者未収金発生リスクを軽減するための証拠金制度の運用手法です。



説明会場風景

本証拠金額を「厚く」設定

説明会では、(1)現行の証拠金制度で可能なことと、(2)証拠金制度の弾力的運用に関して取引所に確認した内容をQ&A形式で説明した。

柔軟な 追加預託請求等

①現行の証拠金制度において可能なこと
現行の委託契約準則では、取引本証拠金の額は取引所が定めた額(取引本証拠金基準額)以上の額を受託会員が定めることとなっている。その場合でも、取引追証証拠金は、受託会員が定めた本証拠金額にかかわらず、取引本証拠金基準額の2分の1を超える値洗損失が生じたときに必要となる。

②預り証拠金から値洗損失を差し引いた額について、取引本証拠金基準額の【3面につづく】

全国商品取引所出来高

4月、前年同月上回る、金が1位復帰

全国6商品取引所の4月の月間出来高は前月比2.8%増え、前年同月比でも4カ月ぶりにプラスに転じた。金、白金、銀、パラジウムが好調な商いを続け、3月に2位に後退した金がすぐに1位に復帰した。

農産品では、Non-GMO大豆、粗糖の商いが好調。一方で、大豆ミール、ブロイラー、鶏卵、冷凍えびは低調。取引所別では、東工取が前年同月比55.3%増、1~4月でみて26.2%増のほかはいずれもマイナス。

商品別・取引所別出来高順位表(単位:枚・%、平成18年4月)

順位	商品名	取引所名	出来高	平成17年4月	前年同月比	前年同月順位	前年同月比順位
1	金	東工取	2,086,257	835,104	249.8	③	↗
2	ガンリン	〃	1,474,757	1,245,431	118.4	①	↘
3	白金	〃	949,161	536,213	177.0	⑦	↗
4	Non-GMO大豆	東穀取	889,921	743,527	119.6	⑤	↗
5	ゴム	東工取	543,428	458,788	118.4	⑨	↗
6	ガンリン	中部取	484,121	946,043	51.1	②	↘
7	灯油	東工取	458,959	496,671	92.4	⑧	↗
8	どうもろこし	東穀取	416,202	392,249	106.1	⑩	↗
9	灯油	中部取	373,719	758,536	49.2	④	↘
10	原油	東工取	198,966	177,968	111.7	⑪	↗
11	銀	〃	183,118	57,286	319.6	⑰	↗
12	アラビカコーヒー生豆	東穀取	161,408	655,209	24.6	⑥	↘
13	一般大豆	〃	120,146	163,860	73.3	⑫	↗
14	粗糖	〃	107,557	28,100	382.7	⑳	↗
15	パラジウム	東工取	50,597	14,445	350.2	⑳	↗
16	小豆	東穀取	31,478	67,192	46.8	⑭	↘
17	ゴム(RSS3)	大阪取	27,730	48,082	57.6	⑱	↗
18	アルミニウム	東工取	16,749	17,048	98.2	⑳	↗
19	どうもろこし	福岡取	13,736	63,160	21.7	⑮	↘
20	ロブスター生豆	東穀取	12,790	76,988	16.6	⑬	↘
21	ゴム指数	大阪取	12,553	33,874	37.0	⑳	↗
22	アルミニウム	〃	7,757	61,005	12.7	⑰	↘
23	コーヒー指数	関西取	3,706	24,324	15.2	㉒	↘
24	冷凍えび	〃	3,076	43,133	7.1	⑲	↘
25	ゴム(TSR20)	大阪取	2,485	23,260	10.6	㉓	↘
26	鉄スクラップ	中部取	2,329	-	-	-	-
27	鶏卵	〃	1,341	6,253	21.4	㉑	↘
28	Non-GMO大豆	福岡取	1,327	6,394	20.7	㉒	↘
29	生糸	東穀取	967	10,034	9.6	㉔	↘
30	野菜	〃	956	19,357	4.9	㉕	↘
31	ニッケル	大阪取	905	2,319	39.0	㉖	↘
32	国際穀物等指数	関西取	743	8,823	8.4	㉗	↘
33	Non-GMO大豆	〃	727	2,837	25.6	㉘	↘
34	大豆ミール	福岡取	717	1,087	65.9	㉙	↘
34	軽油	中部取	717	2,736	26.2	㉚	↘
34	小豆	関西取	717	1,113	64.4	㉛	↘
37	粗糖	〃	600	672	89.2	㉜	↘
38	ブロイラー	福岡取	485	2,087	23.2	㉝	↘
39	大豆ミール	東穀取	243	657	36.9	㉞	↘
40	IOM一般大豆	福岡取	242	653	37.0	㉟	↘
41	精糖	東穀取	234	234	100.0	㉡	↘
41	精糖	関西取	234	234	100.0	㉡	↘
43	精糖	福岡取	117	117	100.0	㉣	↘
合計			8,643,978	8,037,191	107.5		

取引所別出来高(オプション取引除く)(単位:枚・%)

取引所	平成18年4月(A)	前年同月計(B)	(A)/(B)	平成18年1~4月(C)	前年同期累計(D)	(C)/(D)
東工取	5,961,992	3,839,290	155.3	23,670,657	18,762,453	126.2
東穀取	1,741,902	2,160,105	80.6	7,326,558	9,929,290	73.8
中部取	862,227	1,713,568	50.3	3,558,065	9,207,478	38.6
大阪取	51,430	168,540	30.5	257,598	792,253	32.5
福岡取	16,624	73,976	22.5	94,678	459,585	20.6
関西取	9,803	81,712	12.0	88,341	608,687	14.5
合計	8,643,978	8,037,191	107.5	34,995,897	39,759,746	88.0

【社】全国商品取引所連合会調べ